

平成28年度中央区まちづくり事業アイデア提案の検討状況

【資料2-2】

No	事業タイトル	第2回懇話会での意見(平成27年7月27日開催)	第2回懇話会後の提案者等との検討結果
1	「中央区いきいきクーポン(仮称)」の配布	・多額の費用を必要とし、実現困難。 ・区よりも市として取り組むべきものではないか。	・提案者と話して、まちづくり事業が2000万円の予算の範囲内で実施する事業で、今回の提案は多額の予算を必要とし実現が難しい旨を説明した。区のまちづくり事業というより、実施するなら市の施策として取り組む事業だと思われる。
2	バイタルデータデバイスによる健康づくり	・制度というよりマネジメントになっている。 ・バイタルデータデバイスは、企画が乱立していてどれが最終的に残るかわからない状況。ひとつのところに投資して、何年持つのかわからない。費用も提案者がどれくらい持ってくれるかわからない。 ・本当にバイタルデータが必要な世代にとって利用ができないのでは。 ・1校区100名程度を対象として実施すると初期投資で285万円、ランニングコストで100万円かかる。事業として厳しい。	・1校区100名程度を対象に実施したとして、初期投資で285万円、ランニングコストで毎年100万円ぐらいかかる見込みなので、費用対効果を考えると実現は難しいかもしれない旨を伝えた。
3	ごみゼロキャンペーンウィーク実施による中心市街地の美化活動(事業タイトルについては検討中)	・町内自治会での全市一斉清掃と重ならないか。 ・中心街だけでなく、他の中央区の区域でもやってはどうか。 ・一つの校区でやっている事業を他の校区に広げていくという提案を採用したこともある。	・現在、11月の第2週での実施を検討しており、一斉清掃と重なることはない。 ・green bird熊本の主な活動範囲が、中心街(安政町三年坂通り、城見町通り)であること、また、エリアを広げて活動するためには、相当の人材及び費用が必要となることから、今後、この事業を継続して実施していくためにも、まずは中心街をメインとして実施していきたいと考えている。 ・また、この活動・イベントに参加した若者の中から、今後の中央区のまちづくりのキーマンとなる人材が発掘・育成されることも目標であり、より多くの若者の参加を見込むためにも、たくさんの人が集まり、利用する中心街でまずは開催したい。 ※期間中は、学生(大学生・高校生)が企画するイベントのほか、若者の集客が見込めるライブイベントやトークイベントなどで環境美化に対する啓発も実施予定。
4	「一緒に食べるとおいしいよ!」 ～「おしゃべり広場」～	・いきいきサロンと合同でやってはどうか。 ・高齢者や子ども達と一緒に楽しく食べるということを考えてみてはどうか。 ・中央区は5区の中で一人暮らしの老人が一番多い。単独高齢世帯の課題をどうするかというのが中央区の一番の課題で、高齢者と子ども達を関わらせるという発想で出てきた案と思われる。 ・支援が必要な子ども達、見守りが必要な子どもなどにも声かけしてほしい。	・引きこもりがちな高齢者(一人暮らし中心)にバランスの取れた食事を提供することで、健康的な食生活を送るための契機となり、更には、保育園幼稚園等へ出演を呼びかけて、余興や講演会を催すことで楽しいひと時を過ごし、こころの元気づくりにつなげていく事を目指す。 ・校区によりけりだが、高齢者サロン等との合同で開催できるなら、一緒にやっていくことで、相乗効果が期待できる。
5	Start-up.中央区。～中央区内に存在する様々な課題の解決を図るためのワークショップの実施及びそこで出た多種のアイデアの実現～	・特に意見なし。	・若い人たちを中心に、まちづくりに関心を持ってもらう事業として展開したい。 ・予算を伴わない事業は年度内で実践し、予算を伴うような事業は翌年度の事業提案に結び付けたい。 ・山鹿市で実施している「部活サロンin山鹿」という事業を視察。その形式も参考にしながら、実施を検討したい。